

平成26年度 下水熱ポテンシャルマップ（詳細マップ）策定事業 モデル地区の募集要領

1. 趣旨

(1) 本事業の目的

地球温暖化対策は喫緊の課題であり、特に、近年、排出量が増加している民生部門の温室効果ガス削減をおこなうことが急務となっている。一方で、熱需要の多い都市内においては、下水熱等の未利用熱が豊富に存在することから、これらを冷暖房や給湯等に活用することで、民生部門のCO₂削減に大きく貢献できる可能性を有している。

しかしながら、現在、下水熱等の未利用熱ポテンシャルに関する情報は整備されておらず、下水熱等未利用熱の利用を検討するに当たっては、民間事業者が個別の事業ごとに一つ一つ調査しなければならない状況である。

このため、下水熱等の未利用熱ポテンシャルに関する情報基盤の整備の一環として、「下水熱利用推進協議会」の下に設置する「下水熱等未利用熱ポテンシャルマップ分科会」においてポテンシャルマップ策定手法を検討するとともに、試行的に、モデル地区におけるポテンシャルマップを策定するもの。

平成25年度においては、実現可能性調査（F S）地域・事業化地域の絞り込み等に活用できる「広域ポテンシャルマップ」を策定した。平成26年度は、下水熱利用事業計画の詳細検討等に活用できる「詳細ポテンシャルマップ」を策定する。

(2) 事業の概要

応募のあった地区から、「3. 選定に当たっての視点」に基づき、「下水熱等未利用熱ポテンシャルマップ分科会」において有識者により意見を聴取し、選定する。選定されたモデル地区については、分科会で検討されるポテンシャルマップ策定手法を踏まえつつ、各地区の状況やニーズに応じ、関係主体間の連携の下、ポテンシャルマップ策定、それを用いたF Sの支援を受けることができる（費用は国が負担）。なお、最終的な成果品（ポテンシャルマップ及びF Sの結果）については、原則として国のホームページ等で公表するとともに、可能な限り、各モデル地区の地方公共団体においても公表していただく。本事業のスケジュールは以下のとおり。

(スケジュール)		
平成26年 5月14日	公募開始	
平成26年 6月13日	公募締切	
平成26年 6月中旬～ 3月上旬	分科会の検討内容	モデル地区での活動
	○モデル地区の選定	○ポテンシャルに係る情報収集・整理、ニーズ把握
	○ポテンシャルマップ策定 手法検討	○ポテンシャル算出・マップ策定
	○マップ策定手引き検討	○ポテンシャルマップ公表

2. 提案主体

地方公共団体（民間事業者等との共同体も可）

3. 選定に当たっての視点

提案の選定に当たっては、以下の視点を踏まえ、モデル地区を総合的に評価する。

- ①応募された地区が、ポテンシャルマップ策定に当たって、他都市のモデルとなるような地区であるか。
- ②地方公共団体の取組意欲が十分か。また、地方公共団体の他部局や民間事業者との連携体制が構築できるか。
- ③ポテンシャルマップにより下水熱利用が促進される可能性が見込めるか。

4. 応募書類の記載内容

モデル地区の応募に当たっては、上記を踏まえ、以下の事項を「様式1」に記載する。また、モデル地区に係る参考資料を添付しても差し支えない。

（1）モデル地区の概要

－モデル地区の範囲（地図を添付）、モデル地区の建物用途等土地利用状況、合流・分流の別、人孔位置、降雨・降雪の状況等

※モデル地区は数街区程度の範囲で1提案につき1地区とする

（2）モデル地区の具体的情報

①実施体制

－ポテンシャルマップ策定に係る取組意欲、他部局や民間事業者との連携体制 等

②今後の見込み

－モデル地区における都市開発の有無、ポテンシャルマップの活用による未利用熱利用プロジェクトの予定 等

③F Sの希望の有無

（3）モデル地区が属する下水処理区域全体の情報

①データの把握状況

－下水道台帳（電子データ）の有無、下水道施設に関するデータ、下水の流量及び水温データの把握・保有状況 等

②モデル地区外において下水管路内に流量計・温度計を設置できる地点の情報

－住宅地域、一般的な用途の施設よりも床面積当たりの排水量が多い大規模温浴施設・宿泊施設や、逆に排水量が少ない倉庫等の施設の近傍であって、下水管路内に流量計・温度計を設置できる見込みの地点の概要

5. 募集期間

（1）募集期間

平成26年5月14日（水）～6月13日（金）

（2）応募締切

平成26年6月13日（金）17:00必着

※締切後の提出は一切認めない。但し、郵便事情等で紙媒体の提出が遅れる場合にあつては、電子メールの到着を提出とみなす。

6. 提案書類の提出方法

(1) 提出方法

応募書類（様式1及び参考資料）については、郵送により提出すること。

具体的には、以下に掲げるア)及びイ)の資料（紙媒体及び電子媒体）を送付することとし、封筒に「ポテンシャルマップモデル地区応募書類在中」と朱書きで記載すること。

【提出資料】

ア) 応募書類1部

※ 様式1、参考資料の順で、ホチキス留めせずに、ダブルクリップで綴じること。

イ) 応募書類の電子データを保存した電子媒体（CD-R）1セット

※ 電子媒体のデータは、応募書類（様式1及び参考資料）ごとに.doc、.docx、.ppt、.pptx、.xls、.xlsx、又は.pdfの拡張子の形式で保存するとともに、様式1については、PDF形式に変換したファイルを保存すること。

(2) 提出先及び問い合わせ先

国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課

「ポテンシャルマップ策定事業」公募係

住 所：東京都千代田区霞が関2-1-3

担当者名：安倍・南晴（なんせい）

E-mail：abe-t22e@mlit.go.jp

TEL：03-5253-8427（下水道企画課直通）

(3) 提出資料の取扱い

選定されたモデル地区の応募書類については、公開する場合がある。

7. 選定の方法及び手順

前述のとおり、モデル地区の選定は「下水熱等未利用熱ポテンシャルマップ分科会」を設置した上で、当該分科会の有識者により意見を聴取し、モデル地区の選定を行う。モデル地区は5つ以内（FSはそのうち2つ以内）で選定する。なお、必要に応じて事前ヒアリングを実施する。審査結果は非公開とし、審査終了後、個別に採否を電子メールにて連絡する。

8. 留意事項

- (1) モデル地区において、下水管路内に流量計・温度計を設置して測定を行うため、設置の可否について事前に確認すること。また、流量計・温度計の設置に当たっては応募した地方公共団体に協力を求める。なお、測定は平成26年7～平成27年1月頃を予定している。
- (2) モデル地区と同一の下水処理区域内であつて、モデル地区以外の場所においても、下水管路内に流量計・温度計を設置することを求める場合がある。
- (3) ポテンシャルマップ及びFSの結果については公表するため、必要に応じ、モデル地区内の建物所有者等と調整を図ること。

- (4) 提案者には、関係者を含めた数回の現地打合せを行うとともに、分科会への出席を求める場合がある。